

第3回

おおさか優良緑化賞 受賞事例集



■表彰の目的■

大阪府自然環境保全条例等に基づいて緑化がなされたもののうち、府内の都市環境の改善に特に貢献する緑化や建築物敷地内の魅力向上に資する緑化、新たな緑化手法のモデルとなる等の優れた取組みを顕彰することで、民間施設等において、より質の高い緑化を普及・推進することを目的としています。

■応募対象■

1,000㎡以上の敷地を有する施設で、大阪府自然環境保全条例第33条で緑化の義務が課せられたもの及び同第35条第3項に該当するもの、若しくは同第38条で規定する市域において緑化の義務が課せられたもののうち、顕彰実施年度の前5年度[※]から前年度までに緑化が完了したもの
(※平成18年度以前は除く。応募方法の詳細はp.10参照)

■ 総 評 ■

審査委員長 増田 昇

本年は、19施設と昨年度と比べ若干応募件数が少なく、そのうち集合住宅が14件と集中したが、緑量、敷地外部への公開性、緑化技術の高さという定量的な3指標から評価した1次審査ではいずれの施設も水準が高かったことから、19件すべてを2次審査の選考対象とした。

2次審査は、事務局による詳細な現地調査からの写真とコメントをもとに、5人の審査員による景観面や緑化貢献度などの評価を加え、審査委員間の論議を経て知事賞3施設と奨励賞7施設を選出した。

緑量といった指標からは集合住宅系が圧倒的に有利となることから、緑化スペースが確保しにくい店舗や事務所、工場等では緑化への積極的な取組みや工夫などを前向きに評価し、緑化条件が厳しい中での今後の緑化モデルとなり得る施設を選考するものとした。

集合住宅系では住棟間スペースを利用し、ごく当たり前に緑化が導入されつつあるものの、その他の施設ではまだまだ空間的にも予算的にも緑化への厳しい制約があることがうかがわれるが、環境の世紀といわれる中で、この賞が緑化の先導的モデルとなることが期待される。

「おおさか優良緑化賞」選考委員 ※50音順

遠藤 尚美【副委員長】	有限会社 サステイナブル・e 取締役
中井 美樹	株式会社 産業経済新聞社 社会部大阪総局記者
増田 昇【委員長】	大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科教授
間宮 吉彦	株式会社 インフィクス 代表取締役社長
山田 宏之	和歌山大学 システム工学部准教授

【表紙デザイン】

このパンフレットの表紙は、大阪芸術大学の協力を得て、学内コンペから選ばれたデザインを使用しています。

(デザインコンセプト)

「自然、まさにそこは生命の舞台、自然から何かを感じながら、そこに創造され描かれた風景。陽の光、明るい清い世界を象徴する緑、自然の中でみどりとふれあい、緑を守り育てる心を表現しようと試みました」

大阪芸術大学デザイン学科 森田 佳那子



大阪府知事賞

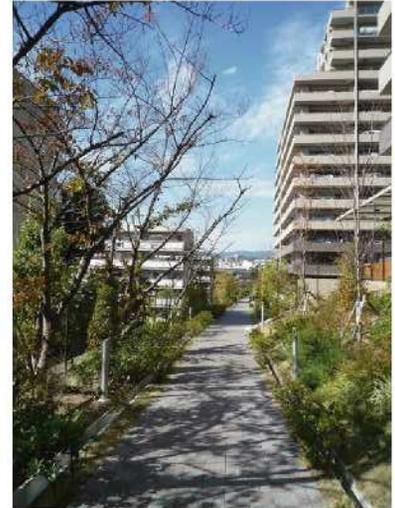
ジオ千里桃山台

所在地：豊中市新千里南町
 主用途：集合住宅
 建築主：阪急不動産 株式会社

設計：(株)奥村組西日本支社
 一級建築士事務所
 建築施工：(株)奥村組西日本支社
 造園施工：住友林業緑化(株)



(左) 既存樹の保存



(右) 通り抜けできる遊歩道

講評

本施設は緑の豊かさを誇る千里ニュータウン内の桃山台で日本住宅公団（現 UR都市機構）が分譲した集合住宅が建て替えられたものである。敷地の北部と西側の通り抜けができる遊歩道沿いには既存樹が積極的に保存されており完成当初から落ち着きがありボリューム感のある緑景観が創出されている。

緑化面積は大阪府基準値の2倍以上で樹木比率も6割以上と高く低木層から高木層に及び複層的な植生配置が随所に導入されており多様性と豊かさを感じさせている。

緑化形態も保存樹林や駐車場上部の屋上庭園、日本庭園などバラエティに富み、居住者の豊かな屋外生活が実現されている。

新御堂の街路樹が借景として生け捕りされているなど周辺環境との調和も図られている。敷地全域におよび多様な緑化形態が導入されているにもかかわらず綿密な維持管理が実行されており、良好な生育環境が持続されている。

(委員長 増田 昇)



人工地盤上の日本庭園



施設内より新御堂の街路樹を望む



(左・右) 駐車場上部に設けられた緑地



八尾市立リサイクルセンター

所在地：八尾市曙町

主用途：公共施設

建築主：八尾市

設計：極東開発(株)

建築施工：極東開発(株)

造園施工：松楨園

■ 講 評 ■

八尾市に所在するリサイクルセンター学習プラザは、ごみの再資源化やリサイクルに取り組み、学習プラザでの市民啓発をあわせて行う施設です。

施設自体にも風力発電や太陽光パネルも設置されており環境に対する情報も発信されています。学習プラザでは愛称でもある『めぐる』をテーマに学習機能が構成されていて見学はもちろん様々なイベントを行い地域住民の交流の場としても活用されています。しかし施設としては工場も伴うことになる訳ですが、本計画では工場にありがちな無機質な景観を、盛土を活かした階段状の植栽や壁面緑化など複層的な緑の創出で奥行きをつくり緑の豊かさを演出しています。

施設全域にわたる緑化計画によりリサイクルのもつ本来の再生利用を可視化した景観が評価されました。

環境施設の緑化が循環型社会の原風景となることを展望します。

(選考委員 間宮 吉彦)



盛土を利用した接道部の階段状の植栽



社会見学にも利用される屋上部分の緑化(上)・太陽光発電(下)



数種類のつる性植物を組み合わせた壁面緑化



駐車場緑化



エントランスに通じる歩道



施設外観と線路沿いの緑化



株式会社 大西 本社ビル

所在地：大阪府中央区久太郎町

主用途：店舗

建築主：株式会社 大西

設計：東畑建築事務所, ティ・ベル企画設計
設計共同企業体

建築施工：(株)大林組

造園施工：(有)ケイエスディー



(左) 接道部緑化

(右) 施設外観

■ 講 評 ■

本施設は大阪市街地の中心部の本町にあり、大阪を代表する繊維や衣料メーカーなど新旧のビルが立ち並ぶ一帯にあります。新店舗の増築にあわせて旧館部分の屋上も一体化して緑化されました。常緑の中木や低木、地被類がうまく組み合わせられ配置されています。また定期的に丁寧なメンテナンスがされており、実際の面積以上に見た目の緑量をより豊かにし潤いのある空間にしています。社員のくつろぎの場所として活用されている場所なので、一般への公開性はありませんがデザイン、管理の良さに加えて施主の緑に対する愛着も伝わってきます。

今後も継続的に維持され、企業の取り組む屋上緑化のよいモデルとなられることを期待しています。

(副委員長 遠藤 尚美)



屋上緑化全景 奥が旧館・手前が新館部分



(上) 配管をカモフラージュする木製階段

(下) 昼食時は社員利用も多い



種類豊かで複層的な植栽

選考委員会奨励賞

ジオ北千里古江台



(左) ハーブ園



(右) 住棟間の連絡通路



←
施設北側人工地盤上の
日陰に適した植栽



(左) エントランスからの景観



(右) 施設外観と接道部の緑地

所在地：吹田市古江台

主用途：集合住宅

建築主：阪急不動産 株式会社

【設計】・【建築施工】(株)竹中工務店 【造園施工】(株)COM計画研究所・(株)クリエイティブ阪急

講評

ジオ北千里古江台は吹田市にあり、高度経済成長時代に建築された集合住宅群の一角にあります。緑化面積203.2%（府基準比）の緑量の中で樹木の占める割合が多く成長が楽しみです。またハーブ園や屋上緑化、建物間の隙間に至るまで、その場所の条件や特徴を上手に活かしながらバラエティに富んだ植栽空間が展開されています。管理状態もよくシステムも確立されています。居住者を対象にした樹木や草花の講習会は交流の場になると同時に、共に植物を育てていこうという姿勢が印象に残ります。接道部に多くの緑地を有することから、近隣の人々もこの花や緑を気軽に楽しむことが出来て地域への貢献度の高い施設です。

(副委員長 遠藤 尚美)

BELISTA弁天町

講評

大阪府の基準に対する緑化面積の充足率が374.8%と非常に大きく、今回の応募物件の中では最高の値である。これは屋上緑化の面積が1,010㎡もあることが大きく影響している。建物面積は1577.9㎡であり、建物屋上の60%以上は緑地ということになる。屋上緑化は、建築物の造成によって失われてしまった自然地表面の再生作業である、という概念があるが、BELISTA弁天町は、まさにこれを具現化したような建築であると言える。地上部の緑化にも力が入っており、高木を積極的に取り入れて立体的でボリューム感のある緑地が効果的に配置されていて、建物内から見ても、外部から見ても緑豊かな景観が形成されている。

(選考委員 山田 宏之)



高木（センペルセコイア）と地被類を織り交ぜた
公開性のある緑地



エントランス周囲の彩りのある緑化



屋上緑化（高麗芝）

所在地：大阪市港区波除

主用途：集合住宅

建築主：藤和不動産 株式会社

【設計】(株)長谷工コーポレーション大阪エンジニアリング事業部 【建築施工】・【造園施工】(株)長谷工コーポレーション

選考委員会奨励賞

グランオーパス

■ 講 評 ■

大阪府の基準に対する緑化面積の充足率は295.6%と大きい。屋上緑化面積は994.5㎡とかなり大きな値であるが、それよりも地上部の緑地面積が8857.3㎡と広大であり、これが全体の緑化面積率を押し上げている要因となっている。これには既存樹木の保存など、元々敷地にあった自然の樹木を活用して緑地を確保していることが有効に働いている。既存樹林地にはフォレストデッキと名付けられた階段状の遊歩道が設置されており、施設居住者は手軽に森林浴を楽しむことが出来るようになっている。外周部の緑地など、まだ植物の生育が十分でないと思われる場所もあるが、今後の管理次第では、より充実した美しい緑地が形成されることが期待できる。

(選考委員 山田 宏之)



既存樹林帯に設けられた木製階段



(左) 施設外観



(右) 屋上庭園

所在地：枚方市高塚町

主用途：集合住宅

建築主：藤和不動産 株式会社

アーバンライフ 株式会社

株式会社 アポック

【設計】(株)IAO竹田設計・(株)地球号 【建築施工】(株)ピーエス三菱 【造園施工】(株)さくら造園

なかもずアイランズ

■ 講 評 ■

なかもずアイランズは堺市の住宅地に計画された大規模な集合住宅で、建物を囲むように緑化されています。緑化面積、樹木比率は高いのですが、セットバックした接道部分での緑化が主体になっています。ケヤキの街路樹や自主管理公園も有しますが、この規模の集合住宅ではもっと生活に自然を取り入れ緑化空間による都市生活の豊かさを創出してはどうでしょうか。一般的な集合住宅の評価をみると立地や利便性、施設の充実が評価の対象になっていますがこのような駅前にも近い大規模な集合住宅こそ、もっと緑化を取り入れ、ヒートアイランド対策や都市の魅力アップなど広域的な緑化計画に取り組んでもらいたいと思います。本施設の所在する堺市は低

炭素社会の実現を目指す環境モデル都市の認定を受けております。クールシティ堺の実現に向けて、官、民、産共同による環境と共存した快適な住環境の創造を展望します。

(選考委員 間宮 吉彦)



セットバックした歩道沿いに設けた生垣
(レッドロビン)



歩道沿いの緑化



自主管理公園

所在地：堺市北区金岡町

主用途：集合住宅

建築主：伊藤忠都市開発 株式会社

M I D都市開発 株式会社

オリックス不動産 株式会社

【設計】浅井謙建築研究所(株) 【建築施工】東海興業(株) 【造園施工】伊藤忠林業(株)

選考委員会奨励賞

OPH千里佐竹台



大幅なセットバックを行った接道部緑化



(左) 保存樹



(中) 駐車場上部の緑化



(右) 通路沿いの緑化

講評

本施設は阪急南千里駅東側に位置する大阪府住宅供給公社による高齢者向け優良住宅を含む賃貸住宅である。緑化面積は大阪府基準値の約2倍と十分な緑量が導入されていることに加え、クスやサクラの大木が保存されており、入居当初からボリューム感のある緑景観が創出されている。セキュリティ上から閉鎖系の施設が多くなる中で、敷地は完全に地域に開放されているとともにメインの接道部は大きくセットバックされ幅のある緑地帯が設けられているなど、周辺地域に対して豊かな緑環境を提供している。敷地内も通路沿いをはじめ、駐車場周辺や車路沿いにも緑が積極的に導入され、敷地中央部の駐車場屋上部も本格的に緑化されており潤いのある景観が創出されているものの、屋上緑化部での維持管理不足や緑化に適さない日陰地などで樹木の枯死が発生しており、維持管理面の充実が求められる。

(委員長 増田 昇)

所在地：吹田市佐竹台

主用途：集合住宅

建築主：大阪府住宅供給公社

【設計】(株) ジャス 【建築施工】東急・岩出・富国特定建設工事共同企業体、村本・株木・松本特定建設工事共同企業体
【造園施工】東急グリーンシステム(株)、(株)有田造園土木

講評

南海泉大津駅から徒歩10分、幹線道路に沿い新築された衣料品卸売業者の本社ビルです。道路に面した部分の緑化が充実し、周辺環境の向上に大きな役割を果たしています。交差点に面した場所に植えられたケヤキは、ボリュームもあり今後、「あのケヤキのある角を曲がって・・・」など、住民が道しるべに使うなど、地域のシンボルツリーとなるでしょう。地元商工会議所の副会頭を務める同社社長が、地球環境に関心が高く、地域の先進事例となるよう設計された社屋となっています。温暖化防止に効果があるとされている、駐車場の芝生化など意欲的な取組みもあり評価を集めました。

(選考委員 中井 美樹)

ナックス春日町本社ビル



シンボルツリー(ケヤキ)と駐車場緑化



所在地：泉大津市春日町

主用途：事務所・工場

建築主：株式会社 ナックス

← (左) 歩道沿い緑化

(右) 施設内からの景観

【設計】(株)日建設計 【建築施工】(株)浅沼組 【造園施工】(株)山内造園土木

選考委員会奨励賞

講評

高槻地域生活総合支援センターふれいすBe

身体障害や知的障害・精神障害を持つ人たちが、日常生活を送る通所型の福祉施設です。緑化率は府基準と大きく変わらないものの、植えられている花々や樹木が多様で、四季折々の自然の豊かさを感じられる内容になっています。

また、カフェや居室などガラス張りの部分が多く、施設内から緑を充分楽しめる工夫がなされています。施設関係者によると、重度の身体障害者が長い時間を過ごさざるを得ないトイレにも、庭を眺めることができる大きな窓が設置されていて、利用者にも好評だそうです。建物が、道路から奥まったところにあるため、外から見える緑量が少ないのが残念ですが、今後、緑化環境を活用した地域住民との交流などの取組みを期待します。

(選考委員 中井 美樹)



中庭の植栽(カツラ) 施設内からもよく見える



(左) 施設外観



(中) エントランス



(右) クライミングローズによる壁面緑化

所在地：高槻市郡家本町

主用途：福祉施設

建築主：社会福祉法人

北摂杉の子会

【設計】(株)二井清治建築研究所 【建築施工】(株)安部工務店 【造園施工】ノア セノオナオト

第2回 受賞施設

大阪府知事賞



ディーグラフォート千里中央

所在地：豊中市新千里西町

主用途：集合住宅

建築主：大和ハウス工業(株)



スイートガーデン豊中旭ヶ丘

所在地：豊中市旭丘

主用途：集合住宅

建築主：総合地所(株)

東急不動産(株)

三交不動産(株)

(株)長谷工コーポレーション



日野病院

所在地：堺市東区北野田

主用途：病院

建築主：特定・特別医療法人 頌徳会

ザ・ヴァンデュールシティ
(寝屋川市)



選考委員会奨励賞

グッドタイム リビング 香里ヶ丘
(枚方市)

高齢者総合福祉施設 四条畷荘
(四条畷市)



ウェリス・ジオ千里佐竹台
(吹田市)



千里リハビリテーション病院
(箕面市)



ホソカワミクロン(株) 本社ビル
(枚方市)



児童養護施設 あおぞら
(岸和田市)



委員所感

遠藤委員

おおさか優良緑化賞も3回目となり、今回は施設の様々な場所の条件を活かした工夫や試みが多く施されていました。その中でも特に、計画時にその後の変化を踏まえた植栽デザインと管理システムを確立されている施設の緑は、実際の面積を上回る視覚的緑量があり、質のよい緑が潤いのある雰囲気を作り出しています。

当然のことながら植物は生き物です。植栽が完了した当初は理想とする景観の60%程度ではないでしょうか。それを1年後、3年後と時間をかけて100%に近づいていくのか、逆に完成時よりも衰退していくかはその後の管理システムが大きく影響します。今回は緑量やデザイン、内容に加えて緑を育てるにはそれを育てるシステムと人の存在が大きく左右することを改めて感じました。一般に整備費には費用をかけても管理費は削減されるという風潮がありますが、「緑量」「緑質」「緑育」の三つが定着していくことを望みます。

間宮委員

最近、何かと言えば環境、環境と繰り返されますが、環境を切り口とした経済、社会の変革として日本版グリーンニューディールを活かし、あるべき日本の姿を提示し、活力のある日本を取り戻してほしいものであります。

街、建築、空間を創造していくことは与えられた環境を生活に取り入れて活用することが必要です。そして環境に考慮した用途の計画が重要であり、これがモノではない空間の豊かさを形成することに繋がるのではないのでしょうか。

日本は国土の三分の二を森林に囲まれ自然に恵まれた環境です。しかし開発となればその環境を活かさず、造形や機能を優先させ後で自然を付け加える手法が目立ちます。今回の応募物件も緑化することに焦点が与えられていて、その場の環境を活かした計画が少なかったように思われます。優良緑化賞の意義は受賞した環境を次の時代に活かし、サステナビリティな社会に貢献することだと思われます。

中井委員

3回目となる今回も、20件近い質の高い内容の応募があり、緑の面積をただ広く確保するだけではない、意欲的な取組が、着実に広がっていることを感じさせてくれました。

特に今回は、民間の事業所が、知事賞にも奨励賞にも選出されました。ともすれば、「緑化など儲けにならない」と切り捨ててしまいがちな不況の時代にあって、緑化に取り組む姿勢こそ、評価されるべきだと思います。商都大阪の象徴であるような「船場」の街に、今回知事賞に選出された「㈱大西本社ビル」のような、建物が生まれたことをうれしく思います。

緑の空間の多さは、その街のゆとりを示す指標でもあります。ビルが建ち並ぶ都心であればなお緑の貴重さが際立つはず。後に続く、事業者が増えることを願います。

山田委員

日本全体で見れば建設不況と言ってもいい状態であるが、今年の実務物件の中には、今までに無かったような素晴らしい緑化を行った施設がいくつも見受けられた。これは、質の高い緑が不動産価値を高める、という認識がデベロッパーの間で定着してきたということを表しているのではないかと考えている。質が高い上に、緑の量に関しても、大阪府の緑化基準の4倍近い物件も現れ、200%、250%といった緑化充足率では最早、審査で目立たないという嬉しい状態になっている。自治体が定める緑化基準というのは、最低限度を示す基準であり、質の高い緑化を志せば、自ずから基準値を超えてくるのが当然だと思っているが、今まではそのような考え方で緑化を計画するデベロッパーは稀であった。今後の都市緑化の進展に希望が見える、意義のある選考会であった。

おおさか優良緑化賞 応募用紙

平成 年 月 日

大阪府知事

あて

次の施設を「おおさか優良緑化賞」に応募します。

施 設	
施設名	
所在地	
施設種	
施設緑化完了日	
建築主（応募者）	
住 所	
氏 名	
連絡先	
連絡担当者	
社名／氏名	
TEL／FAX	TEL / FAX
e-mail	

当該施設の緑化について配慮した事項

緑化計画の作成に当たり特に配慮したところ	<input type="checkbox"/> 緑量 <input type="checkbox"/> いろいろ <input type="checkbox"/> 生態系保全 <input type="checkbox"/> 景観向上 <input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 利用者のふれあい <input type="checkbox"/> 資源の循環利用 <input type="checkbox"/> 敷地の有効利用 <input type="checkbox"/> その他（ ）
緑化施設の配置について特に意識したもの	<input type="checkbox"/> 外からの景観 <input type="checkbox"/> 内からの景観 <input type="checkbox"/> 庭園等としての利用 <input type="checkbox"/> その他（ ）
屋上緑化の施設利用者への開放	<input type="checkbox"/> 常時開放 <input type="checkbox"/> 時間指定で開放 備考（ ）
緑化の管理方法	<input type="checkbox"/> 業者委託等、計画的に管理している <input type="checkbox"/> 特殊な設備を用いて管理している。 <input type="checkbox"/> その他（ ）
その他PR	

添付書類

1. 大阪府自然環境保全条例による届出関係図書（緑化完了書、樹木一覧表、緑化完了平面図、求積図）
2. 現況写真
3. その他説明資料（施設緑化の取組みに関する資料等）

※大阪府自然環境保全条例第38条で定める市域にあっては、各市条例の届出関係図書 図面については、可能な限りA3サイズでの提出をお願いします。
現況写真については、JPEG等の電子データで提出いただくことも可能です。



おおさか優良緑化賞

大阪府自然環境保全条例(以下、条例)に基づいて緑化がなされたもののうち、府内の都市環境の改善に特に貢献する緑化や建築物敷地内の魅力向上に資する緑化、新たな緑化手法のモデルとなる優れた取組を顕彰します。

応募資格

敷地面積1,000㎡を超える以下の施設

- ・ 条例第33条による義務緑化を行ったもの
- ・ 条例第35条第3項で定める建築物で義務緑化を行ったもの
- ・ 条例第38条で指定する市町村において義務緑化を行ったもの

応募期間

顕彰実施年度の8月末まで適宜

- ・ 顕彰実施年度の前5年度から前年度までに緑化が完了したものが応募対象です。(但し、平成18年度以降に限る)

応募方法

応募は自薦です。応募用紙に必要事項を記入の上、関係書類(緑化完了書等)を添えてご提出ください。

- ・ 応募は大阪府の以下の機関、市町村担当課で受付しています。
- ・ 応募用紙、添付書類については、裏面をご参照ください。

環境農林水産部 みどり・都市環境室 みどり推進課
北部農と緑の総合事務所、中部農と緑の総合事務所
南河内農と緑の総合事務所、泉州農と緑の総合事務所

緑化の規模だけでなく、景観、利用への配慮・工夫、緑化への意欲等、施設緑化に関わるさまざまな努力や取組について、学識経験者等で構成する選考委員会で審査・評価され、受賞者が決定します。

ホームページでもご覧いただけます

<http://www.pref.osaka.jp/midori/midori/03ryokasho.html>